

第3回奈良のシカ保護管理計画検討委員会

日時 平成27年3月5日(木)

16:00 ~ 18:00

場所 やまと会議室 5階 大会議室

議 事 概 要

【議 事】

- (1) 保護管理計画策定のためのワーキンググループの設置について
- (2) 農林業被害軽減に向けた取り組みの検討結果について
- (3) 人身事故対策の取り組みの検討結果について
- (4) 保護管理計画策定のための課題(特に区域区分)について
- (5) 保護管理計画策定のスケジュールについて

【配布資料】

- 資料1 第2回奈良のシカ保護管理計画検討委員会議事概要
- 資料2 保護管理計画策定のためのワーキンググループの設置について
- 資料3 農林業被害軽減に向けた取り組みの検討結果について
- 資料4 人身事故減少に向けた取り組みの検討結果について
- 資料5 保護管理計画策定のための課題(特に区域区分)について
- 資料6 奈良のシカ保護管理計画の策定スケジュール

● 出席者名簿

	氏 名	役 職 名	
委員長	村上 興正	元京都大学理学研究科 講師	
委 員 (五十音順)	朝廣 佳子	鹿サポーターズクラブ 会長	
	小西 涼治	一般財団法人奈良の鹿愛護会 事務局長	
	高柳 敦	京都大学 講師	
	立澤 史郎	北海道大学大学院 助教	
	玉手 英利	山形大学 教授	
	鳥居 春己	奈良教育大学 特任教授	
	松井 淳	奈良教育大学 教授	
	渡邊 伸一	奈良教育大学 教授	
オブザーバー	江戸 謙顕	文化庁文化財部記念物課 文化財調査官	
	花山院 弘匡	春日大社 宮司	欠席
県関係課	奈良県教育委員会事務局文化財保存課		
	奈良県農林部農業水産振興課		
	奈良県農林部森林整備課		
	奈良公園事務所		
市関係課	奈良市観光経済部農林課		
	奈良市教育委員会事務局教育総務部文化財課		
関係団体	奈良公園のシカ相談室		
	鹿害阻止農家組合		
事務局	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室		
	奈良市観光経済部観光振興課		

● 議事要旨

(1) 保護管理計画策定のためのワーキンググループの設置について

- 奈良のシカ保護管理計画の策定をスムーズに行うために、「全体構想検討ワーキンググループ」、「人身事故対策ワーキンググループ」、「農林業被害対策ワーキンググループ」の3つのワーキンググループを設置し、そのメンバー構成とグループリーダー等を選定した。
- 計画策定に係る他の委員会(奈良公園植栽計画検討委員会、春日山原始林保全計画検討委員会、奈良公園地区整備計画検討委員会)と連携を図ることとした。まず議事概要等を各委員会で配布すると共に、必要であれば連絡会議、合同会議等の開催を行うこととした。

(2) 農林業被害軽減に向けた取り組みの検討結果について

- 緊急を要する課題の1つである農林業被害対策について、農林業被害対策ワーキンググループを設置し、取組内容と実施方針等について検討を行った。
- 農作物被害軽減対策の実証実験として、平成27年には鹿野園町及び藤原町に防鹿柵を設置することとし、効果検証結果を今後の被害軽減対策に係る基本方針のとりまとめに役立てることとした。
- 設置は平成27年の田植えまでに行い、また、設置には専門家の立会いのもとで施工指導を行うこととした。
- 設置する防鹿柵の周辺農地に被害が生じる可能性があることから、周辺農地に小規模な防鹿柵を設置することとした。
- 水路対策を緊急課題として検討し、地元関係者間の合意形成を図った上で早急に対策を取ることとした。
- 効果検証は、防鹿柵の設置前後及び防鹿柵内外の農作物の被害状況の比較及びシカの行動調査を行うこととし、柵内に侵入された場合その原因を明らかにできるように行うこととした。
 - ・農作物の被害状況については、「どこで・どれくらい・何の作物に」被害があったかといった精度で調査する。
 - ・周辺はオスの集団が多いため、行動調査(GPSテレメトリー)については、角伐りオスに付けることとする。
 - ・検証結果は、ライトセンサスの結果等を踏まえ、周辺エリアにどのくらいのシカがいるのかを併せて示すこととした。
- 農作物被害以外にも、奈良公園周辺の住宅地における家庭菜園や庭で生じている被害についても、被害軽減対策を検討することとした。

(3) 人身事故対策の取り組みの検討結果について

- 緊急を要する課題の1つである交通事故を含む人身事故対策について、人身事故対策ワーキンググループを設置して、実施方針等について検討を行った。
- 人身事故、交通事故の発生状況等を把握するため、愛護会及び奈良公園のシカ相談室の資料を詳細に分析することとした。
- シカに係る感染症について情報収集を行うこととした。
- 観光客に対し、シカの基本的な生態・行動を踏まえ、シカとの接し方のルール作りを行うこととした。
- 12歳以下の子供に係る事故件数の割合が高い等、被害の実態を踏まえての具体的な啓蒙が必要であることを確認した。また、観光客が奈良公園を訪れる際に利用している媒体（ホームページ、雑誌、パンフレット等）の把握や、注意喚起看板等の改善等を行っていくこととした。

(4) 保護管理計画策定のための課題（特に区域区分）について

- 保護管理計画策定のための課題について、全体構想検討ワーキンググループを設置し、区域区分の見直しについて検討を行った。
- 保護管理計画策定に向け、現状についてまとめ、歴史性を踏まえたうえで課題を整理し、方針を立てることとした。
- 区域区分について、奈良のシカの位置付けや定義、奈良県の特定鳥獣保護管理計画との関係を踏まえて検討することとした。
- 区域区分の変更については、鹿害訴訟の和解条項にもとづくものであることを踏まえ、慎重に進めていくこととした。

(5) 保護管理計画策定のスケジュールについて

- 平成28年度末までに基本方針をまとめられるように進めていくこととした。また、スケジュールについては平成30年を目途に示すこととした。

(6) その他

- 現在は、天然記念物として指定された「奈良のシカ」の集団がわからなくなっていることが問題として指摘され、今後、「奈良のシカ」とは何かという「奈良のシカ」の定義を検討していく必要があることを確認した。

以上